



2023年9月1日  
聖心女子学院初等科  
校長 大山 江理子  
9月号

## 夏を終えて、聖心らしき再び グローバルマインドと沈黙

校長 Sr. 大山 江理子

大変暑い夏休みでした。皆様お元気で過ごしてはいかがでしょうか。子どもたちと保護者の皆様からもたくさんの夏のお便りをいただきました。ありがとうございました。今年はコロナ禍の落ち着きを経て、色々な活動や旅行や出会いなど、様々な経験のある夏休みとなられた様子を読ませていただきました。ご家族でもよい時間を過ごされたことでしょうか。

夏の間の学校では、校舎は静かでしたが、セミの鳴き声がとても賑やかでした。学校が再開すると、子どもたちの元気な声に溢れます。そして、夕方から夜になると秋の虫の声が響きます。心を静けさへと向かわせる虫の声です。

この夏に、学校について考える二つの機会がありました。一つはユネスコスクールについて。本校は2012年にユネスコスクールに認定されています。ユネスコスクールとは、国連の組織の一つであるユネスコの理念を実践する学校で、加盟校は国際的なネットワークを形づくっています。第二次大戦後の平和を求める動きによって1952年に発足しました。そこでは、平和や環境問題など、地球規模の諸問題に若者が対処できるような新しい教育内容や手法の開発や発展が求められます。現在、世界182ヶ国で12,000校以上、日本では1,115校がユネスコスクールです。世界の子どもたちと若者が国を越えて協力し、平和な地球を創ることを目指します。

聖心のグローバルマインドを育てる様々な活動、聖心のグローバルネットワークはまさにユネスコスクールの理念にかなっています。SDG'Sに取り組んだり、奉仕活動をしたり、ハイチデーをしたりすることも含まれます。これからは、世界の一員という意識をユネスコスクールの視点からも子どもたちと共に考えていきます。

もう一つは沈黙について。聖心の沈黙の特色を問われて、考えてみました。聖心では確かに沈黙を大切にしています。ただ黙る時間ではありません。ネガティブに皆が押し黙っているのではありません。心を静めて、耳を澄まし、聴くことに専念する瞬間です。心が落ち着くと、心の中にスペースが広がって、大事なことに気づくことができます。それは心の中に響く、静かな音や静かな声でしょう。自分の心の中の深い世界の広がりにも気づきます。沈黙は、自分だけの世界から抜け出して、もっと広い世界につながる力をもっています。学校生活の中で、折々に静かなときを作っています。沈黙は一人ひとりの心の世界ですが、それを皆で共に作り、味わいます。

秋になって、だんだんセミも静かになります。活動的な夏休みから学校にもどり、各自の生活から仲間と共に元気ある毎日を再開するときに、心の静けさを味わっていききたいものです。

### ～ 児童の夏の便りから 一部を紹介します ～



## 経験が意味するもの 一 生きてきた知識の習得に向けて 副校長 中塩 百合

夏休みのお便りから、今夏は様々な体験をする機会に恵まれたことが伝わってきます。

- \*大自然のもと、身体を動かし汗をかき、爽快感を味わった
- \*ひいおばあ様から聞く戦争の話から、平和について考えた
- \*毎日天気予報を見ながら、温暖化を止める方法を考えたいと思った
- \*夜空に上がる花火の美しさに感動 その余韻と共に夏を感じた
- \*大好きな読書三昧の日々 幸せ
- \*毎日1つ、プラスチックを使わない取り組みを実践

子ども時代の小さな体験は、その後の生き方や考え方、社会に出てからの仕事に繋がっていきます。善き時間の中で得た新たな発見や心に残る出会いを活力に、9月からも充実した学校生活を送ってほしいと思います。保護者の皆様も共に成長を見守ってください。

時々子どもたちから、「先生は夏休み宿題がなくって良いですね」と言われることがありますが、夏休みは教員にとっても学びの時です。「リスキリング」「リカレント教育」などの言葉が話題になる昨今ですが、私たちも教員も新たな教育に向けての研鑽が必要です。長年認知心理学の観点から言葉の研究を行い、具体的な示唆をしている今井むつみ先生(慶応大学教授)の講演は興味深いお話でした。

人は無意識下にある膨大な知識や語彙の中から、最も適切な言葉を瞬時に判断します。つまり、言葉を知っているだけでなく、どのような状況下で使うと適切であるかを経験上知っていることが重要だと言います。言語が思考を整理することから、「考える力」と「言葉」は表裏一体であり、書く訓練が判断する力や直観力を育むとも話されました。初等科では学校生活全般を通して「書く」作業をしますが、子どもたちの考える力を培う大切な活動です。また、学力と言葉の関係は深く、学力が不振の子どもは、経験から得た知識や語彙が不足していて、「生きてきた知識」が身につけていないことが多いと言います。知識や言葉だけがぼつんと存在するだけで、繋がりが無い状態です。丸暗記はその場をやり過ごすことはできても、真の知識や言葉の獲得には意味がない「死んだ知識」だと話されました。同じ言語の習得という意味では英語も同じでしょうか。7月に、6年生は「Tokyo Global Gateway」で日常場面を通して英語を話す体験をしました。知っている知識をさらに定着させる意味ある活動であったと振り返ります。【6年 Tokyo Global Gateway 訪問】

毎年夏休みが明けると、どの子どもも心身共に一回り大きく成長します。学校生活においても様々な体験を通して「生きてきた知識」が身に付くよう努めてまいります。



### 9月の予定

- 1日(金) 9月の会  
(午前授業・3,4限平常授業)
- 4日(月) 1年・転入・編入生保護者会
- 5日(火) ～6日(水)  
6ゆり 校外学習(清里)
- 6日(水) ～7日(木)  
6きく 校外学習(清里)
- 7日(木) ～8日(金)  
6ばら 校外学習(清里)
- 11日(月) ～14日(木)  
1年水泳期間
- 13日(水) 泉の会代表幹事会
- 18日(月) 敬老の日
- 22日(金) 1～3年遠足
- 23日(土) 秋分の日
- 25日(月) 午前授業
- 26日(火) 午前授業
- 29日(金) 面談日① 午前授業

### 10月前半の予定

- 1日(日) 都民の日
- 2日(月) 1年・転入・編入生保護者会  
面談日② 午前授業
- 3日(火) 面談日③ 午前授業(金曜時間割)
- 4日(水) 午前授業
- 5日(木) 前期終業式
- 6日(金) 秋休み(みこころ祭)
- 7日(土) みこころ祭
- 9日(月) スポーツの日
- 10日(火) 後期始業式  
身体測定・3,4限平常授業  
防災引き取り訓練(1, 3, 5年)

